

# 特 許 協 力 条 約

P C T

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

（法第 12 条、法施行規則第 56 条）

〔P C T 36 条及び P C T 規則 70〕

出願人又は代理人 の書類記号 PCT01-05012	今後の手続きについては、様式 P C T / I P E A / 4 1 6 を参照すること。	
国際出願番号 P C T / J P 2 0 0 5 / 0 0 5 0 6 5	国際出願日 (日. 月. 年) 1 5 . 0 3 . 2 0 0 5	優先日 (日. 月. 年) 2 9 . 0 3 . 2 0 0 4
国際特許分類 (I P C) Int.Cl. <i>G11B7/0065(2006. 01), G11B7/135(2006. 01), G11B7/24(2006. 01), G11B7/243(2006. 01), G11B7/244(2006. 01), G03H1/02(2006. 01), G03H1/26(2006. 01)</i>		
出願人 (氏名又は名称)  パイオニア株式会社		

1. この報告書は、P C T 35 条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第 57 条 (P C T 36 条) の規定に従い送付する。	
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 4 ページからなる。	
3. この報告には次の附属物件も添付されている。 a. <input checked="" type="checkbox"/> 附属書類は全部で 1 ページである。  <input checked="" type="checkbox"/> 補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙 (P C T 規則 70. 16 及び実施細則第 607 号参照)  <input type="checkbox"/> 第 I 欄 4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙  b. <input type="checkbox"/> 電子媒体は全部で (電子媒体の種類、数を示す)。 配列表に関する補充欄に示すように、電子形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。 (実施細則第 802 号参照)	
4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。  <input checked="" type="checkbox"/> 第 I 欄 国際予備審査報告の基礎 <input type="checkbox"/> 第 II 欄 優先権 <input type="checkbox"/> 第 III 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成 <input type="checkbox"/> 第 IV 欄 発明の単一性の欠如 <input checked="" type="checkbox"/> 第 V 欄 P C T 35 条 (2) に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 <input checked="" type="checkbox"/> 第 VI 欄 ある種の引用文献 <input type="checkbox"/> 第 VII 欄 国際出願の不備 <input type="checkbox"/> 第 VIII 欄 国際出願に対する意見	

国際予備審査の請求書を受理した日 2 7 . 0 1 . 2 0 0 6	国際予備審査報告を作成した日 2 5 . 0 5 . 2 0 0 6		
名称及びあて先 日本国特許庁 (I P E A / J P) 郵便番号 1 0 0 - 8 9 1 5 東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号	特許庁審査官 (権限のある職員) 五貫 昭一	5 D	9 3 6 8
	電話番号 0 3 - 3 5 8 1 - 1 1 0 1 内線 3 5 5 1		

様式 P C T / I P E A / 4 0 9 (表紙) (2 0 0 5 年 4 月)

## 第 I 欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

- ☒ 出願時の言語による国際出願  
☐ 出願時の言語から次の目的のための言語である \_\_\_\_\_ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文  
☐ 国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))  
☐ 国際公開 (PCT規則12.4(a))  
☐ 国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 \_\_\_\_\_ 1 - 2 4 \_\_\_\_\_ ページ、出願時に提出されたもの  
 第 \_\_\_\_\_ \_\_\_\_\_ ページ\*、 \_\_\_\_\_ 付かで国際予備審査機関が受理したもの  
 第 \_\_\_\_\_ \_\_\_\_\_ ページ\*、 \_\_\_\_\_ 付かで国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 \_\_\_\_\_ 2 - 3, 5 - 2 5 \_\_\_\_\_ 項、出願時に提出されたもの  
 第 \_\_\_\_\_ \_\_\_\_\_ 項\*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの  
 第 \_\_\_\_\_ 1 \_\_\_\_\_ 項\*、2 7 . 0 1 . 2 0 0 6 付かで国際予備審査機関が受理したもの  
 第 \_\_\_\_\_ \_\_\_\_\_ 項\*、 \_\_\_\_\_ 付かで国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 \_\_\_\_\_ 1 / 1 5 - 1 5 / 1 5 \_\_\_\_\_ ページ/図、出願時に提出されたもの  
 第 \_\_\_\_\_ \_\_\_\_\_ ページ/図\*、 \_\_\_\_\_ 付かで国際予備審査機関が受理したもの  
 第 \_\_\_\_\_ \_\_\_\_\_ ページ/図\*、 \_\_\_\_\_ 付かで国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☒ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ  
☒ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 4 \_\_\_\_\_ 項  
☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図  
☐ 配列表(具体的に記載すること) \_\_\_\_\_  
☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ  
☐ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項  
☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図  
☐ 配列表(具体的に記載すること) \_\_\_\_\_  
☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

\* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

第Ⅴ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT35条(2)）に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性（N）	請求の範囲	1－3，5－25	有
	請求の範囲		無
進歩性（I S）	請求の範囲	1－3，5－25	有
	請求の範囲		無
産業上の利用可能性（I A）	請求の範囲	1－3，5－25	有
	請求の範囲		無

2. 文献及び説明（PCT規則70.7）

文献1：J P 61－176968 A（大日本印刷株式会社）  
1986.08.08  
全文，第1図

請求の範囲1－3，5－25に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1に記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。

## 第VI欄 ある種の引用文献

## 1. ある種の公表された文書（P C T 規則 70.10）

出願番号 特許番号	公知日 (日. 月. 年)	出願日 (日. 月. 年)	優先日 (有効な優先権の主張) (日. 月. 年)
JP 2004-265472 A 「E, X」	24. 09. 2004	27. 02. 2003	06. 02. 2003

## 2. 書面による開示以外の開示（P C T 規則 70.9）

書面による開示以外の開示の種類	書面による開示以外の開示の日付 (日. 月. 年)	書面による開示以外の開示に言及している 書面の日付 (日. 月. 年)
-----------------	------------------------------	--

## 請求の範囲

1. (補正後) 基板と反射層を有し、光照射により情報の記録又は再生が行  
5 われるホログラム記録担体であって、  
可干渉性の参照光及び信号光の成分による光学干渉パターンを回折格子として  
内部に保存するホログラム記録層と、  
前記ホログラム記録層の膜厚方向に積層されかつ、光強度に感応して物性が変  
化する２次元記録層と、を有し、前記２次元記録層は前記ホログラム記録層及び  
10 前記反射層間に配置されていることを特徴とするホログラム記録担体。  
2. 前記光学干渉パターンは第１光ビームにより生成されてホログラムが記  
録され、前記２次元記録層が第２光ビームに感応し前記物性の変化によりマーク  
が記録されることを特徴とする請求項１記載のホログラム記録担体。  
3. 前記ホログラム記録層は、前記第２光ビームの波長に対する感度より高  
15 い前記第１光ビームの波長に対する感度を有すること、並びに、前記２次元記録  
層は、前記第２光ビームの波長に対する感度が前記第１光ビームの波長に対する  
感度より高く設定された相変化膜、色素膜又は光磁気記録膜であることを特徴と  
する請求項２記載のホログラム記録担体。  
4. (削除)  
20 5. 前記２次元記録層は前記ホログラム記録層の光照射面側に配置されてい  
ることを特徴とする請求項１～４のいずれかに記載のホログラム記録担体。  
6. 前記ホログラム記録層に記録された前記ホログラム又は前記ホログラム